

日本国特許庁
PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

PCT/JP00/01816
09/937522
24.03.00
EU JP00/01816

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日
Date of Application:

1999年 3月26日

REC'D 19 MAY 2000

出願番号
Application Number:

平成11年特許願第083905号

WIPO

PCT

出願人
Applicant (s):

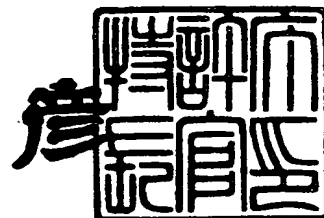
科学技術振興事業団

PRIORITY
DOCUMENT
SUBMITTED OR TRANSMITTED IN
COMPLIANCE WITH RULE 17.1(a) OR (b)

2000年 4月28日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

近藤隆彦



出証番号 出証特2000-3030323

【書類名】 特許願

【整理番号】 NP99125-NT

【提出日】 平成11年 3月26日

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】 G02F 2/00

【発明の名称】 時間信号の2次元空間信号への超高速変換方法

【請求項の数】 4

【発明者】

【住所又は居所】 兵庫県神戸市東灘区鴨子ヶ原1丁目4-15-131

【氏名】 一岡 芳樹

【発明者】

【住所又は居所】 大阪府高槻市日吉台四番町20-41

【氏名】 小西 毅

【特許出願人】

【識別番号】 396020800

【氏名又は名称】 科学技術振興事業団

【代理人】

【識別番号】 100093230

【弁理士】

【氏名又は名称】 西澤 利夫

【電話番号】 03-5454-7191

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 009911

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【ブルーの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 時間信号の2次元空間信号への超高速変換方法

【特許請求の範囲】

【請求項1】 空間的に適当な幅をもつ信号パルス光と参照極短パルス光とを分散素子と1次元フーリエ変換光学系を介して非線形結晶に入射し、非線形結晶における位相整合条件を満たして形成される第二次高調波を逆1次元フーリエ変換光学系に通して時間→空間変換された1次元空間分布に変換し、前記時空間変換1次元空間分布を1次元空間周波数フィルタリング光学系のフィルタ面に設置した時間一周波数フィルタによってフィルタリングし、信号パルス光の時間と周波数の関係を表す時間一周波数展開された2次元光分布を2次元空間信号とみなすことを特徴とする時間信号の2次元空間信号への超高速変換方法。

【請求項2】 空間的に適当な幅をもつ信号パルス光と参照極短パルス光とを光学軸に対し対称な角度で分散素子に入射し、この分散素子上の入射位置の違いによって時間的な差違が生じて分散された信号パルス光と参照極短パルス光からの光波を1次元フーリエ変換光学系を通して分散素子での入射位置の違いにより異なる入射角度を持つ1次元周波数光分布にそれぞれ変換し、これらの1次元周波数光分布を非線形光学結晶に入射し、これらの入射1次元周波数光分布の成す角度で決まる位相整合条件を満たして形成される第二次高調波を逆1次元フーリエ変換光学系に通して時間→空間変換された1次元空間分布に変換し、得られた時空間変換1次元空間分布を1次元フーリエ変換光学系によって1次元空間周波数分布に変換し、この1次元空間周波数分布を時間一周波数フィルタによってフィルタリングし、得られる光波を逆1次元フーリエ変換光学系に通して、時間一周波数展開された2次元光分布の強度分布を求め、この信号パルス光の時間と周波数の関係を表す時間一周波数展開された2次元光分布を2次元空間信号とみなすことを特徴とする時間信号の2次元空間信号への超高速変換方法。

【請求項3】 時間一周波数フィルタに空間周波数フィルタリングを用いることを特徴とする請求項1または2の時間信号の2次元空間信号への超高速変換方法。

【請求項4】 時間一周波数フィルタを透過率分布が異なるものとし、1次

元フーリエ変換光学系から出力される光波の空間周波数成分を垂直方向にどのような位置に切り出すかを任意に設定することを特徴とする請求項1ないし3のいずれかの時間信号の2次元空間信号への超高速変換方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

この出願の発明は、極短光パルス時間信号に符号化された2次元情報を2次元空間信号に超高速に変換する方法に関するものである。

【0002】

【従来技術】

光通信の分野においては、マルチメディア情報（特に画像情報）の実時間伝送を目ざして、時間多重や波長多重などの方法による伝送容量の大容量化が進められている。そして、その信号形態は基本的に時間信号である。ただ、このような伝送容量の大容量化に伴ない、伝送する情報の時間信号化（符号化）および時間信号化された情報の展開（復号化）を超高速に行うことが必要になってくる。そこで、これまでも、この時間信号と画像情報などの2次元以上の空間信号との間で信号形態の超高速変換を実現する「空間-時間-空間信号処理方法」が提案されている。だが、実際的には、このような空間-時間-空間信号処理方法においては、具体的な時間→2次元空間信号変換技術の点で解決すべき課題があった。

【0003】

それというのも時間信号と空間信号との間で信号形態の超高速変換を実現する方法として種々の方法が提案されているが、従来方法では1次元の空間信号との超高速変換は可能であるが、2次元以上の空間信号との変換には基本的に能動的な走査を必要とし、変換速度に制限があるものや、能動的な走査が必要ない超高速な変換であっても逆に現在の超高速受光デバイスでは観測できない問題があったからである。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】

そこで、この出願の発明は、以上のような能動的な走査を必要とせずに、時間信号から 2 次元空間信号への信号形態の超高速変換を実現し、かつ時間的に定常な状態で、2 次元空間信号を可視領域で表示することのできる、新しい、時間信号の 2 次元空間信号への超高速変換方法を提供することを課題としている。

【0 0 0 5】

【課題を解決するための手段】

この出願の発明は、上記の課題を解決するものとして、第 1 には、空間的に適当な幅をもつ信号パルス光と参照極短パルス光とを分散素子と 1 次元フーリエ変換光学系を介して非線形結晶に入射し、非線形結晶における位相整合条件を満たして形成される第二次高調波を逆 1 次元フーリエ変換光学系に通して時間→空間変換された 1 次元空間分布に変換し、前記時空間変換 1 次元空間分布を 1 次元空間周波数フィルタリング光学系のフィルタ面に設置した時間一周波数フィルタによってフィルタリングし、信号パルス光の時間と周波数の関係を表す時間一周波数展開された 2 次元光分布を 2 次元空間信号とみなすことを特徴とする時間信号の 2 次元空間信号への超高速変換方法を提供する。

【0 0 0 6】

また、第 2 には、この出願の発明は、空間的に適当な幅をもつ信号パルス光と参照極短パルス光とを光学軸に対し対称な角度で分散素子に入射し、この分散素子上の入射位置の違いによって時間的な差違が生じて分散された信号パルス光と参照極短パルス光からの光波を 1 次元フーリエ変換光学系を通して分散素子での入射位置の違いにより異なる入射角度を持つ 1 次元周波数光分布にそれぞれ変換し、これらの 1 次元周波数光分布を非線形光学結晶に入射し、これらの入射 1 次元周波数光分布の成す角度で決まる位相整合条件を満たして形成される第二次高調波を逆 1 次元フーリエ変換光学系に通して時間→空間変換された 1 次元空間分布に変換し、得られた時空間変換 1 次元空間分布を 1 次元フーリエ変換光学系によって 1 次元空間周波数分布に変換し、この 1 次元空間周波数分布を時間一周波数フィルタによってフィルタリングし、得られる光波を逆 1 次元フーリエ変換光学系に通して、時間一周波数展開された 2 次元光分布の強度分布を求め、この信号パルス光の時間と周波数の関係を表す時間一周波数展開された 2 次元光分布を

2次元空間信号とみなすことを特徴とする時間信号の2次元空間信号への超高速変換方法を提供する。

【0007】

そして、この出願の発明は、第3には、時間一周波数フィルタに空間周波数フィルタリングを用いることを特徴とする前記の時間信号の2次元空間信号への超高速変換方法を、第4には、時間一周波数フィルタを透過率分布が異なるものとし、1次元フーリエ変換光学系から出力される光波の空間周波数成分を垂直方向にどのような位置に切り出すかを任意に設定することを特徴とする前記いずれかの時間信号の2次元空間信号への超高速変換方法を提供する。

【0008】

【発明の実施の形態】

この出願の発明は上記のとおりの特徴をもつものであるが、以下にその実施の形態について説明する。

図1はこの出願の発明による時間信号の2次元空間信号への超高速変換方法を実施するための時間→2次元空間信号変換光学系の構成を例示したものである。この時間→2次元空間信号変換光学系1では、回折格子などの分散素子、1次元フーリエ変換レンズおよび1次元逆フーリエ変換レンズ、第二次高調波発生のための非線形結晶、1次元空間周波数フィルタリングシステム、時間一周波数フィルタを用いることにより、変換対象である信号パルス光、本例では極短パルスレーザー光、すなわち時間信号を時間と周波数に対応する2次元空間信号に変換することができる。

【0009】

すなわち、図1に示したように、分散素子である回折格子(2)に信号光(3)と(4)とを光学軸に対称な角度で入射する。このとき回折の式に基づく方向に光波は偏向される。ここで、信号光および参照光共に入射ビームに幅があるため、回折格子への入射位置の違いによって時間的な差違が生じる。得られた光波を円筒レンズ(5)で構成する1次元フーリエ変換光学系により水平方向成分に対しフーリエ変換することにより、信号光および参照光のスペクトル分布が非線形結晶面(101)に空間分布として得られる。回折格子への入射位置の違

いにより光波の伝搬方向（波数ベクトル）が異なるため、非線形結晶面 101 において光波の波面は時間とともに回転する。

【0010】

信号光と参照光による光波が非線形結晶に入射すると、非線形効果による位相整合により 2 つの波数ベクトルの和を波数ベクトルとする第二次高調波が出射する。このとき信号光と参照光による光波の波数ベクトルは時間と共に回転するが、その変化量は同等であるため第二次高調波は時間的に定常な状態で出射し続ける。したがって第二次高調波の波数ベクトルは 2 つの光波の波数ベクトルの初期波数ベクトルのみに依存し、信号光と参照光の相対時間に依存することになる。また非線形結晶内において、第二次高調波の空間分布は信号光による光波を参照光による光波が走査しており第二次高調波の空間分布は信号光のスペクトル分布 7 と同等になる。よって時間信号を第二次高調波がもつ空間分布と波数ベクトルの 1 次元空間分布に変換することが可能となる。

【0011】

得られた第二次高調波を円筒レンズ (9) (10) で構成する結像光学系により時間一周波数変換フィルタ面 (103) に結像する。時間一周波数フィルタ (11) は、切り出す周波数成分の周波数が垂直方向に順に増加するように設計したものをを用いる。時間一周波数フィルタの透過率分布を変化させることにより、どのような周波数成分を垂直方向のどのような位置に切り出すかを設定することができる。

【0012】

時間一周波数フィルタによりフィルタリングされた第二次高調波は、水平方向に時間に対応した波数ベクトルを、垂直方向に周波数に対応した分布をもつ。この第二次高調波を円筒レンズ (12) で構成される 1 次元逆フーリエ変換光学系により水平方向成分に関してフーリエ変換する。これにより出力面 (104) 上に水平軸方向には時間に対応する分布、垂直方向には切り出されたスペクトル成分の分布が対応する光波の 2 次元空間分布 (13) が得られる。以上のことにより超短光パルスに含まれる時間信号を、時間と周波数の 2 次元空間分布に変換することが可能となる。

【0013】

もちろん、この出願の発明は、上述した実施例にのみ限定されるものではなく、幾多の変更や変形が可能である。たとえば、上述した実施例では、分散素子として回折格子を用いたが、他の分散素子を用いることもできる。また、上述した実施例では、フーリエ変換光学系および逆フーリエ変換光学系として円筒レンズを用いたが、他の光学素子を用いることもできる。また、上述した実施例では、時間一周波数フィルタとして透過型フィルタを用いたが位相型フィルタを用いることもできる。

【0014】

【発明の効果】

上述したように、この出願の発明による時間信号の2次元空間信号への超高速変換方法によれば、従来の方法のように能動的な走査を必要とせずに、時間信号に対応する2次元空間信号に超高速に変換することができるとともに、光通信で用いられる波長領域である赤外線を対象とした場合、変換信号の表示を可視光で直接的に行うことができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

この発明による時間信号の2次元空間信号への超高速変換方法で使用する時間→2次元空間信号変換光学系の構成例を示した図である。

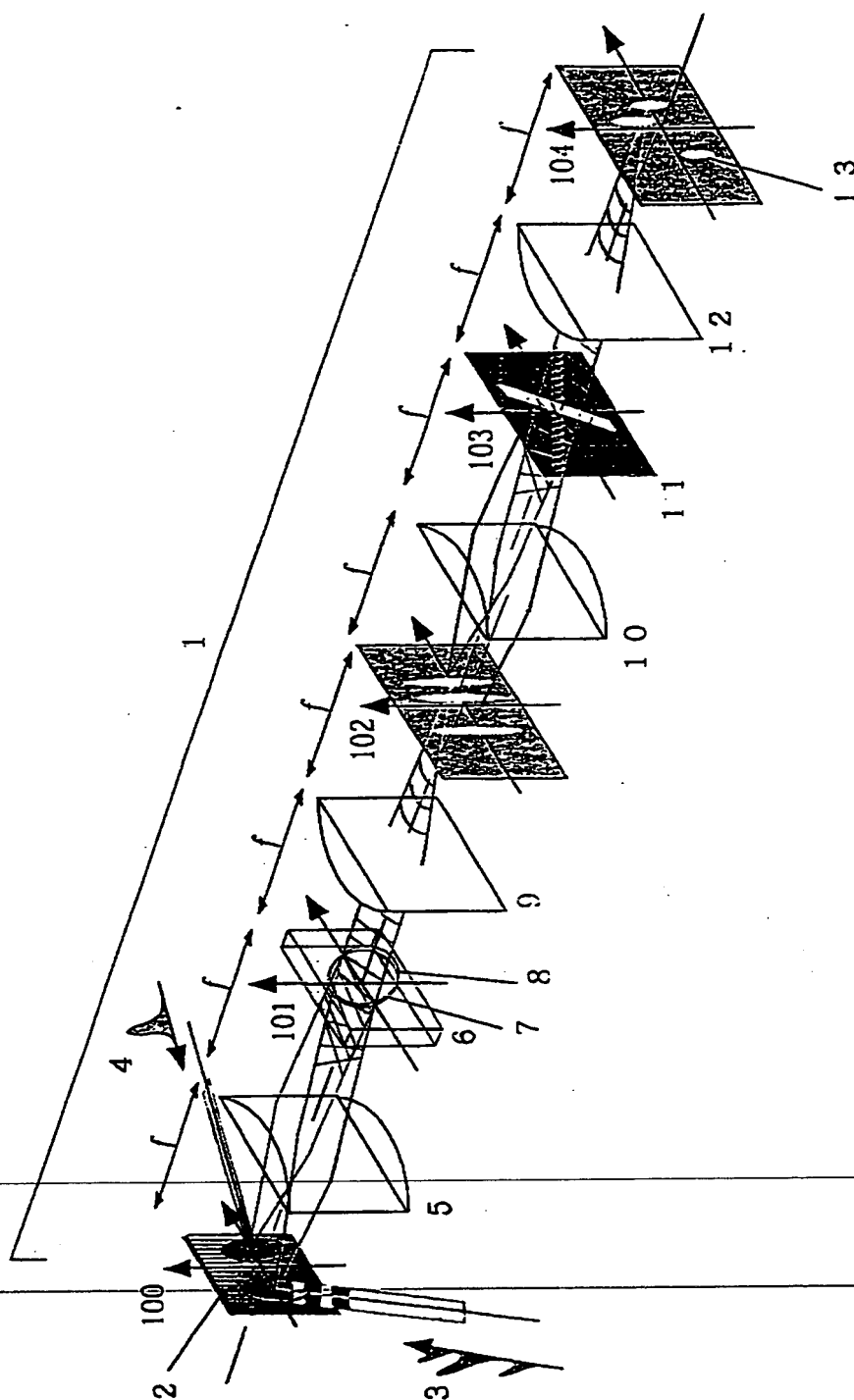
【符号の説明】

- 1 時間→2次元空間信号変換光学系
- 2 回折格子
- 3 信号光
- 4 参照光
- 5 円筒レンズ
- 6 非線形結晶
- 7 信号光の1次元周波数分布
- 8 参照光の1次元周波数分布
- 9 円筒レンズ

- 1 0 円筒レンズ
- 1 1 時間-周波数フィルタ
- 1 2 円筒レンズ
- 1 3 2次元空間分布
- 1 0 0 入射面
- 1 0 1 非線形結晶面
- 1 0 2 時間-空間変換面
- 1 0 3 時間-周波数フィルタ面
- 1 0 4 出力面

【書類名】 図面

【図 1】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 能動的な走査を必要としない時間信号から 2 次元空間信号への信号形態の超高速変換を実現し、かつ時間的に定常な状態で、2 次元空間信号を可視領域で表示する具体的な技術を提供する。

【解決手段】 2 次元空間信号に変換すべき信号パルス光と参照極短パルス光をそれぞれ分散素子 2 に入射し、1 次元フーリエ変換レンズ 5 によって得られる 1 次元周波数光分布をそれぞれ非線形結晶 6 に入射して形成される第二次高調波を 1 次元フーリエ変換レンズ 9 に通して時間→空間変換された光波分布を、1 次元空間周波数フィルタリング光学系のフィルタ面 1 0 2 に設置した時間一周波数フィルタ 1 1 によってフィルタリングし、信号パルス光の時間と周波数の関係を表す時間一周波数展開された 2 次元光分布に対応する 2 次元空間信号 1 3 に変換する。

【選択図】 図 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[396020800]

1. 変更年月日	1998年 2月24日
[変更理由]	名称変更
住 所	埼玉県川口市本町4丁目1番8号
氏 名	科学技術振興事業団